

委 任 状

☒ ※委任者、受任者の双方の了承により、委任状の押印は省略する

【代理者】

住 所 : 高知県南国市久礼田町1715

氏 名 : 株式会社虹工房一級建築士事務所 明神清文

⑨ ※

私は、上記の者を代理者と定め、下記の権限を委任します。

記

【委任事項】

建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）評価業務に関する手続き

<申請の区分>

■ 評価申請書に関する手続き

■ 変更評価申請書に関する手続き

□ 取下届に関する手続き

□ 評価書再交付申請に関する手続き

■ 名義変更届に関する手続き

上記の申請に関する手続き並びにその訂正、受領（交付された適合判定通知書等の受領を含む）に関する一切の権限

【建物名称】

スターボウル従業員更衣休憩室新築工事

【建設地】

香川県丸亀市土器町東6丁目457-1

2022 年 1 月 7 日

【委任者】

住 所 : 香川県丸亀市土器町東6丁目457-1

氏 名 : 藤村 好子



※

(別記様式第7号)

B E L Sに係る評価申請書

(第一面)

2022 年 1 月 7 日

日本ERI株式会社 殿

申請者の住所又は主たる事務所の所在地
香川県丸亀市土器町東6丁目457-1
申請者の名称

代表者の氏名
藤村 好子

B E L Sに係る評価の申請をします。
この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。
なお、申請者は当該申請の手続きに関する一切の権限を代理者に委任します。

※受付欄	年 月 日	※料金欄
第	号	
申請受理者氏名		

＜評価機関からのお願い＞

BELSに係る評価申請の内容について、個人や個別の建築物が特定されない統計情報として、国土交通省に提供することがございますので、あらかじめご了承のほどお願い申し上げます。

また、BELS評価書取得物件は、申請書・評価書に記載されている項目について、(一社)住宅性能評価・表示協会ホームページにて、BELS事例紹介として評価結果等の公表をさせていただきます。ただし、個人や個別の建築物が特定される情報については、掲載承諾書にて公開の承諾が得られた場合に限りです。



申請者等の概要

【1. 申請者】

【氏名又は名称のフリガナ】 フジムラ ヨシコ
【氏名又は名称】 藤村 好子
【郵便番号】 763-0082
【住所】 香川県丸亀市土器町東6丁目457-1
【電話番号】 0877-24-7272

【2. 代理者】

【氏名又は名称のフリガナ】 カブシキガイシャニジコウホウイクキユウケンチクシムシヨ ミヨウジンキョフミ
【氏名又は名称】 株式会社虹工房一級建築士事務所 明神清文
【郵便番号】 783-0062
【住所】 高知県南国市久礼田町1715
【電話番号】 088-862-2238

【3. 建築主等】

【氏名又は名称のフリガナ】 フジムラ ヨシコ
【氏名又は名称】 藤村 好子
【郵便番号】 763-0082
【住所】 香川県丸亀市土器町東6丁目457-1
【電話番号】 0877-24-7272
【建築主等と申請物件の利用関係】
☐ 持家 ☐ 賃貸 ☐ 給与住宅 ☐ 分譲住宅 ☒ その他

【4. 設計者等】

【資格】 (一級) 建築士 (大臣) 登録 103712 号
【氏名又は名称のフリガナ】 カブシキガイシャニジコウホウイクキユウケンチクシムシヨ ミヨウジンキョフミ
【氏名又は名称】 株式会社虹工房一級建築士事務所 明神清文
【郵便番号】 783-0062
【住所】 高知県南国市久礼田町1715
【電話番号】 088-862-2238

【5. 工事施工者】

【氏名又は名称のフリガナ】
【氏名又は名称】
【営業所名】 建設業の許可 () 第 号
【郵便番号】
【住所】
【電話番号】

【6. 備考】

国庫補助事業への評価書等活用有無 ☐ 有り (予定を含む) ☒ 無し

建築物に関する事項

【1. 建築物の所在地】

香川県丸亀市土器町東6丁目457-1

【2. 該当する地域の区分】 (6) 地域

【3. 建築物の用途】

☒ 非住宅建築物 ☐ 一戸建ての住宅 ☐ 共同住宅等 ☐ 複合建築物

【4. 建築物の名称】 スターボウル従業員更衣休憩室新築工事

【5. 建築物の階数】 (地上) 1 階 (地下) 0 階

【6. 建築物の構造】 鉄骨造 一部

【7. 建築物の延べ面積】(別棟除く) 134.83 m²

【8. 建築物の新築竣工時期(計画中の場合は予定時期)】 2022 年 12 月 31 日

【9. 申請の対象とする範囲】

- ☐ 一戸建ての住宅 (→申請書第四面作成)
- ☐ 共同住宅等の住棟(住戸数()戸) (→申請書第四面作成)
- ☒ 建築物全体(非住宅建築物の全体) (→申請書第四面作成)
- ☐ 建築物全体(複合建築物の全体)(住戸数()戸) (→申請書第四面作成)
- ☐ 住戸(共同住宅等・複合建築物の住戸部分の場合)
(建築物全体()戸のうち評価申請対象住戸()戸) (→申請書第六面作成)
- ☐ 住戸(店舗等併用住宅の住戸部分) (→申請書第六面作成)
- ☐ 複合建築物の部分(非住宅部分全体) (→申請書第七面作成)
- ☐ 複合建築物の部分(住宅部分全体)(住戸数()戸) (→申請書第八面作成)
- ☐ フロア()階 (→申請書第五面作成)
- ☐ テナント() (→申請書第五面作成)
- ☐ 建物用途
- 非住宅用途1 ☐ 事務所等 ☐ 学校等 ☐ 工場等
- 非住宅用途2 ☐ ホテル等 ☐ 病院等 ☐ 百貨店等 ☐ 飲食店等 ☐ 集会所等
(→申請書第五面作成)
- ☐ その他部分() (→申請書第四面又は第五面作成)

【10. 申請対象部分の改修の竣工時期】 (年 月 日)

【11. 備考】 評価書の取得予定年月日 2022 年 1 月 20 日

日本ERI(株)

評価

申請対象に関する事項（建築物）

【1. 申請対象となる建築物の用途】

（建築基準法施行規則（昭和25年建設省令第40号）別紙の表の用途の区分）

事務所

【2. 申請対象となる建築物の計算対象面積】（施工床）

134.83 m² （内、非住宅部分の面積 134.83 m²）

【3. 評価手法（一次エネルギー消費量の計算に用いた方法）】

非住宅：☐ 通常の計算法（標準入力法・主要室入力法）

☒ モデル建物法

☐ 国土交通大臣が認める方法（ ）

住宅：☐ 性能基準

☐ 仕様基準

☐ 国土交通大臣が認める方法（ ）

共同住宅等：☐ 性能基準（※共用部分の評価 ☐ 対象 ☐ 除外）

☐ 仕様基準

☐ 国土交通大臣が認める方法（ ）

※共用部分が存する場合は、選択してください。

【4. 外皮性能に関する表示】

非住宅：☒ 適合・☐ ー（不適合及び対象外）

・B P Iの値の記載（☒ 希望する ☐ 希望しない）

住宅：☐ 適合・☐ ー（対象外）（仕様基準の場合は「適合」のみ、以下の□チェックは不要）

・U_Aの値の記載（※ ☐ 希望する ※ ☐ 希望しない）

・η_{AC}の値の記載（※ ☐ 希望する ※ ☐ 希望しない）

共同住宅等：☐ 適合（☐ 住戸評価 ☐ 住棟評価）・☐ ー（対象外）

（仕様基準の場合は「適合」のみ、その他の□チェック不要）

・U_Aの値の記載（※ ☐ 希望する ※ ☐ 希望しない）

・η_{AC}の値の記載（※ ☐ 希望する ※ ☐ 希望しない）

※評価書にはU_A・η_{AC}いずれかを記載します。また、基準値がない場合には記載ができません。

【5. 改修前のB E Iの値】

☒ 記載なし ☐ 記載する（改修前： ）

【6. 「Z E Bマーク」に関する表示】

☐ 記載しない

☐ 『Z E B』

☐ N e a r l y Z E B

☒ Z E B R e a d y

☐ Z E B O r i e n t e d

【7. 「Z E Hマーク」、「ゼロエネ相当」等に関する表示】

申請書選択肢は評価書の表示項目。カッコ書きは表示マーク。

【共通】

☒ 記載しない

【住宅】

☐ 『Z E H』（Z E Hマーク＋「ゼロエネ相当」）

☐ N e a r l y Z E H（Z E Hマーク）

☐ Z E H O r i e n t e d（Z E Hマーク）

☐ ゼロエネ相当

【住棟】

☐ 『Z E H-M』（Z E H-Mマーク）

☐ N e a r l y Z E H-M（Z E H-Mマーク）

☐ Z E H-M R e a d y（Z E H-Mマーク）

☐ Z E H-M O r i e n t e d（Z E H-Mマーク）



【8. 参考情報】

二次エネルギー消費量等に関する項目以外の情報（注意4⑪）

☐ 別紙による ☒ 記載しない

【9. 一戸建ての住宅でZEH Orientedの場合に申告する事項】

☐ ZEH Orientedの要件（注意4⑫）に適合する

【10. ZEB Orientedの場合に申告する事項】

☐ ZEB Orientedの要件（注意4⑬）に適合する

導入する未評価技術の申告（※）（1以上を選択）

- ☐ CO₂濃度による外気量制御
- ☐ 自然換気システム
- ☐ 空調ポンプ制御の高度化（VWV、適正容量分割、末端差圧制御、送水圧力設定制御等）
- ☐ 空調ファン制御の高度化（VAV、適正容量分割等）
- ☐ 冷却塔ファン・インバータ制御
- ☐ 照明のゾーニング制御
- ☐ フリークーリングシステム
- ☐ デシカント空調システム
- ☐ クール・ヒートトレンチシステム
- ☐ ハイブリッド給湯システム等
- ☐ 地中熱利用の高度化（給湯ヒートポンプ、オープンループ方式、地中熱直接利用等）
- ☐ コージェネレーション設備の高度化（吸収式冷凍機への蒸気利用、燃料電池、エネルギーの面的利用等）
- ☐ 自然採光システム
- ☐ 超高効率変圧器
- ☐ 熱回収ヒートポンプ

【11. 備考】

ZEH Orientedの表示を希望する場合、建設地が該当する地域

☐ 都市部狭小地

☐ 多雪地域

日本ERI(株)

評価

(別記参考様式第3号)

B E L Sに係る評価物件 掲載承諾書

2022 年 1 月 7 日

(第一面)

日本E R I 株式会社 殿

申請者の住所又は主たる事務所の所在地
香川県丸亀市土器町東6丁目457-1
申請者の名称

代表者の氏名
藤村 好子

私は、日本E R I 株式会社 により、B E L Sに係る評価を受けた
下記物件について、一般社団法人性能評価・表示協会（以下「評価協会」という。）の
定めるB E L S評価業務方法書に従い、評価協会及び日本E R I 株式会社
に対し、評価結果等の公表について、下記のとおり承諾します。
建築物の名称 スターボウル従業員更衣休憩室新築工事

記

ホームページ等への 公開・非公開の選択	項目	内容
公開	評価年月日	評価書発行年月日
公開	建築物の所在地及び地域区分	申請書第三面（都道府県のみ）
公開	建築物の階数、延べ面積、構造	申請書第三面
公開	申請対象部分の用途	申請書第四面ほか
公開	星による5段階のマーク	評価書に表示された星の数
公開	採用した評価手法	申請書第四面ほか
公開	B E I の値	申請書第四面ほか
公開	削減率	評価書に表示されたエネルギー消費量の削減率
公開	単位面積当たりの一次エネルギー 消費量（設計値・基準値）	評価書に表示された単位面積当たりの一次エネ ルギー消費量等（設計値・基準値）
公開	各設備の単位面積当たりの一次エネ ルギー消費量等（設計値・基準値）	評価書に表示された各設備等の評価結果詳細
公開	外皮基準への適合	申請書第四面ほか
公開	「Z E Bマーク」又は「Z E Hマーク」 「ゼロエネ相当」「Z E H-Mマーク」 に関する表示等	申請書第四面・参考情報ほか
公開	参考情報の有無	申請書第四面
公開	二次エネルギー消費量に関する項目	評価書に表示された二次エネルギー消費量
☐ 公開 ☒ 非公開	建築物の名称	申請書第三面ほか
☐ 公開 (申請書記載全て) ☐ 公開 (氏名のみ) ☐ 公開 (名称)※名称 の場合は公開する名 称を右記載欄に記載 ☒ 非公開	申請者名	申請書第二面 ※申請書の第二面【氏名又は名称】の記載から 公開したい内容を選ぶことができます (複数の場合は、代表となる一つが抽出されます)
		※公開する名称



(第二面)

☐ 公開 (申請書記載全て) ☐ 公開 (氏名のみ) ☐ 公開(名称)※名称 の場合は公開する名 称を右記載欄に記載 ☒ 非公開	設計者名	申請書第二面 ※申請書の第二面【氏名又は名称】の記載から 公開したい内容を選ぶことができます (複数の場合は、代表となる一つが抽出されます) ※未定の場合は非公開にチェックしてください ※公開する名称
☐ 公開 (申請書記載全て) ☐ 公開 (氏名のみ) ☐ 公開(名称)※名称 の場合は公開する名 称を右記載欄に記載 ☒ 非公開	工事施工者	申請書第二面 ※申請書の第二面【氏名又は名称】の記載から 公開したい内容を選ぶことができます (複数の場合は、代表となる一つが抽出されます) ※公開する名称
☐ 公開 ※チェックがない場合 は非公開となります	アピールポイント	※アピールポイント記入欄に、200文字以内で ご記入ください。
※アピールポイント記入欄 (非公開の場合は記入不要)		

1. 公表の内容と公表先について

- ・評価協会及び 日本ERI株式会社 は、本承諾書において「公開」と記載されている項目又は「公開」を選択した項目について、「内容」欄に記載された情報に基づき、両機関が発行・作成するホームページや機関誌等において当該評価物件の情報を掲載します。

2. 記入上の注意

- ・上記全ての欄に記入の上、提出してください。
- ・「ホームページ等への公開・非公開の選択」欄に「公開」と記載された項目は、個人や個別の建築物が特定されない情報により公開必須になっている項目です。
- ・「ホームページ等への公開・非公開の選択」の欄に□の表示がある項目については、該当するものに■またはレでチェックしてください。

3. 評価協会ホームページ掲載のための注意事項

BELS事例紹介ページでは、BELSに係る評価申請書の第二面に記載された申請者・設計者・工事施工者（以下「申請者等」という。）の氏名又は名称部分を自動的に抽出し、評価書の取得した件数等を掲載しております。そのため、同一のものが正しく抽出できるよう、申請者等の氏名又は名称は以下の項目に注意して記載してください。正しく抽出されない場合は、同一申請者等においても異なる申請者等として分類されます。

(正しく抽出されない例)

- ・略称の混在 (株・(株)は「株式会社」に統一など分類すれば正しく抽出されます。)
- ・全角・半角の使い方
- ・同一名称の異なる事業者名 (一字一句同一なもの) は同じものとして集計されます。
(回避するために、代表者の氏名まで公開情報とするなど対策をしてください。)

(本件に係わる連絡先)

【氏名又は名称のフリガナ】 カブシキガイシャエリコウボウイクキョウケンチクシムシヨ ミヨウジンキョフミ
 【氏名又は名称】 株式会社虹工房一級建築士事務所 明神清文
 【郵便番号】 783-0062
 【住所】 高知県南国市久礼田町1715
 【電話番号】 088-862-2238



設計内容（現況）説明書

建築物の名称	スターボウル従業員更衣休憩室新築工事
建築物の所在地	香川県丸亀市土器町東6丁目457-1
設計者等氏名	一級建築士登録番号 第 103712 号 株式会社虹工房一級建築士事務所 明神清文

【申請上の特記事項】

確認事項	確認項目	特記事項
申請建物について	申請の対象となる範囲	・申請する評価の範囲（該当する全て） ☐ 一戸建ての住宅 ☐ 共同住宅等、複合建築物の住戸 ☒ 非住宅建築物全体等・複合建築物の非住宅部分全体 ☐ フロア・テナントによる ☐ 共同住宅等の住棟・複合建築物の住宅部分全体 ☐ 複合建築物全体 ☐ その他の部分
	計算方法に関する事項	モデル建物法 ・非住宅部分にモデル建物法を採用している場合に利用したモデルを選択 ☒ 事務所モデル ☐ ビジネスホテルモデル ☐ シティホテルモデル ☐ 総合病院モデル ☐ 福祉施設モデル ☐ クリニックモデル ☐ 大規模物販モデル ☐ 小規模物販モデル ☐ 学校モデル ☐ 幼稚園モデル ☐ 大学モデル ☐ 講堂モデル ☐ 飲食店モデル ☐ 集会所モデル ☐ 工場モデル
	共同住宅共用部	・共同住宅共用部分に設置する照明設備の一次エネルギー消費量基準への簡易適合判断 ☐ 利用する ※照明設備のみ評価対象となる場合に限り利用可能

【参考】申請の対象とする範囲と設計内容説明書の関係

申請の対象とする範囲	住宅用 【第二面】	非住宅用 【第三面】	共用部用 【第四面】	住棟用 【第五面】
一戸建ての住宅	○	—	—	—
共同住宅等、複合建築物の住戸	○ ※1	—	—	—
非住宅建築物全体等	—	○	—	—
フロア・テナント・建物用途	—	○ ※2	—	—
共同住宅等の住棟等	○ ※1	—	○	○
複合建築物全体	○ ※1	○	○	○ ※3
その他の部分	適宜選択			

※1・・・ 住戸ごとに作成する。ただし別の表を用いることも可能。

※2・・・ 申請単位ごとに作成。ただし別の表を用いることも可能。

※3・・・ 住宅仕様基準を含む場合は作成不要。

BELSに関して記載する数値は以下のとおりとします。

- ・UA 小数第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
- ・ηAC 小数第一位未満を切り上げた数値を記載してください。
- ・年間熱負荷係数 小数第一位以下を切り上げた数値を記載してください。
- ・BPI 小数第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
- ・BEI 小数第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
- ・設計・基準一次エネルギー消費量 小数以下一位未満を切り上げた数値を記載してください。
- ・削減率 1未満の端数があるときは、これを切り捨てた数値を記載してください。
(一次エネルギー消費削減量とは「基準一次エネルギー消費量－設計一次エネルギー消費量」をいいます。)



(第三面) 【非住宅用】

非住宅建築物または、複合建築物の非住宅部分

(☒ 全体 ☐ フロア(☐ 別表に記載) ☐ テナント(☐ 別表に記載) ☐ 建物用途(☐ 別表に記載))

申請の部分※	
--------	--

※フロア・テナント・建物用途を複数申請する場合以外は記入不要

【外皮に関する事項】

確認事項	確認項目	設計内容（現況）説明欄			設計内容 確認欄
		項目	設計内容（現況）	記載図書欄	
躯体の外皮性能等		外皮計算結果等	☐ 年間熱負荷係数 設計値（ ）MJ / （㎡・年） 基準値（ ）MJ / （㎡・年） ・ B P I （ ） ☒ モデル建物法 ・ B P I m （ 別紙 ）	☒ 計算書 ☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 建具表	☒ 適

【一次エネルギー消費量等に関する事項】

確認事項	確認項目	設計内容（現況）説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容（現況）	記載図書欄	
事 基 項 本		計算対象床面積	計算対象床面積 （ 134.83 ） m ²	☐ 平面図 ☒ 求積図	
一 次 消 費 量		計算結果等	☐ 通常の計算法 計算結果の記入 ・設計一次エネルギー消費量（その他除く） （ ） GJ／年 ・基準一次エネルギー消費量（その他除く） （ ） GJ／年・・・① ・ B E I （ ） ☒ モデル建物法 ・ B E I m （ 別紙 ） ☐ B E S T省エネ基準対応ツール(以下「B E S T」) ・換算後の設計一次エネルギー消費量（その他除く） （ ） GJ／年 ・基準一次エネルギー消費量（その他除く） （ ） GJ／年・・・① ・換算後の B E I （ ）	☒ 計算書 ☐ 仕様書	☒ 適
設 備 の 概 要	設 備 機 器 に 係 る 概 要 （ B E S T を 除 く ）	空調設備	☒ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	☐ 仕上表	☒ 適
		換気設備	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	☐ 建具表	
		照明設備	☒ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	☐ 矩計図	
		給湯設備	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	☐ 平面図	
		昇降機	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	☐ 機器表	
		エネルギー利用効率化設備	☐ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	☐ 系統図	
				☒ 入力シート ☒ 出力票	

モデル建物法 計算書

設計責任者
明神清文 大臣登録 第103712 号



モデル建物法入力支援ツール(平成28年省エネ基準用)による計算結果

1. 計算結果及び評価結果

(1) 建築物の名称		スターボウル従業員更衣休憩室新築工事			
(2) 床面積	134.83	XML ID/再出力コード			
(3) 省エネ地域区分/年間日射地域区分	6地域	13407e13-83ba-4770			
(4) モデル建物	事務所モデル	#FVF-PXHB-YTFG-REQG			
(5) 評価結果					
年間熱負荷係数	【BPlm】	0.60			
一次エネルギー消費量	【BEIm】	0.50			
空調設備	【BEIm/AC】	0.66			
機械換気設備	【BEIm/V】	-			
照明設備	【BEIm/L】	0.17			
給湯設備	【BEIm/HW】	-			
昇降機	【BEIm/EV】	-			
太陽光発電		なし			
コージェネレーション設備		なし			
(6) 判定	BPlm ≤ 1.00	達成	BEIm ≤ 1.00	達成	

2. 当該建築物の仕様

(1) 外皮の仕様

外皮項目	外皮の仕様	
A. 建設計画	階数 / 階高の合計	1階 / 2.7m
	非空調コア部の方位	西
	建物の外周長さ	47.2m (そのうち、非空調コア部長さ 2.0m)
B. 外壁仕様	外壁面積	北側 18.09m ² 東側 33.21m ² 南側 21.87m ² 西側 33.21m ² 屋根 134.83m ² 外気に接する床 0.00m ²
	平均熱貫流率	外壁 0.36W/(m ² K) 屋根 0.33W/(m ² K) 外気に接する床 0.00W/(m ² K)
C. 窓仕様	窓面積	北側 8.10m ² 東側 4.32m ² 南側 4.32m ² 西側 4.32m ² 屋根面 0.00m ²
	平均熱貫流率	外壁 4.18W/(m ² K) 屋根面 -
	平均日射熱取得率	外壁 0.630 屋根面 -

(2) 空調設備の仕様

設備項目	設備の仕様	
A. 熱源	熱源機種(冷房)	ルームエアコンディショナ
	個別熱源比率(冷房)	100%
	熱源容量(冷房)	163.33W/m ²
	熱源効率(冷房)※	1.41
	熱源機種(暖房)	ルームエアコンディショナ
	個別熱源比率(暖房)	100%
	熱源容量(暖房)	200.08W/m ²
	熱源効率(暖房)※	1.75
B. 外気処理	全熱交換器	無
	外気取り入れ停止	無
C. 搬送制御	二次ポンプ	無
	空調機	無

※ 一次エネルギー換算値



(3) 機械換気設備の仕様

室用途		設備の仕様
A.機械室	換気方式	評価対象設備なし
	電動機出力	
	高効率電動機	
	送風量制御	
	計算対象床面積	
B.便所	換気方式	評価対象設備なし
	電動機出力	
	高効率電動機	
	送風量制御	
	計算対象床面積	
C.駐車場	換気方式	評価対象設備なし
	電動機出力	
	高効率電動機	
	送風量制御	
	計算対象床面積	
D.厨房	換気方式	評価対象設備なし
	電動機出力	
	高効率電動機	
	送風量制御	
	計算対象床面積	

(4) 照明設備の仕様

室用途		設備の仕様
A.事務室	床面積あたりの消費電力	1,46W/m ²
	制御	在室検知制御：無、明るさ検知制御：無 タイムスケジュール制御：無、初期照度補正機能：無
	床面積あたりの消費電力	
	制御	
	床面積あたりの消費電力	
	制御	

(5) 給湯設備の仕様

室用途		設備の仕様
A.洗面・手洗い	熱源効率	評価対象設備なし
	配管保温仕様	
	節湯器具	
B.浴室	熱源効率	評価対象設備なし
	配管保温仕様	
	節湯器具	
C.厨房	熱源効率	評価対象設備なし
	配管保温仕様	
	節湯器具	

(6) 昇降機の仕様

設備項目		設備の仕様
A.制御方式	速度制御方式	評価対象設備なし



(7) 太陽光発電設備の仕様

設備項目		設備の仕様
A.パネル	面数	設置なし
B.パネル1	アレイシステム容量	
	アレイの種類	
	アレイの設置方式	
	アレイの設置方位角	
	アレイの設置傾斜角	
C.パネル2	アレイシステム容量	
	アレイの種類	
	アレイの設置方式	
	アレイの設置方位角	
	アレイの設置傾斜角	
D.パネル3	アレイシステム容量	
	アレイの種類	
	アレイの設置方式	
	アレイの設置方位角	
	アレイの設置傾斜角	
E.パネル4	アレイシステム容量	
	アレイの種類	
	アレイの設置方式	
	アレイの設置方位角	
	アレイの設置傾斜角	

(8) コージェネレーションの仕様

設備項目		設備の仕様
コージェネレーション設備の評価		評価しない
コージェネレーション設備の一台当たりの定格発電出力		
コージェネレーション設備の設置台数		
発電効率	負荷率100%	
	負荷率75%	
	負荷率50%	
排熱効率	負荷率100%	
	負荷率75%	
	負荷率50%	
排熱利用	排熱利用先	
全能力に対する 熱源機種別の能力比率	全冷房能力に対する排熱利用可能な 冷房熱源機種別の冷房能力比率	

※ コージェネレーション設備の評価結果が「無効」となった場合は、コージェネレーション設備は審査・検査の対象外となります。



入力シートによる入力内容の一覧

1. アップロードされた入力シート

- 様式A 基本情報入力シート

■様式B-1 開口部仕様入力シート

■様式B-3 外皮仕様入力シート

■様式C-1 空調熱源入力シート

□様式C-3 空調二次ポンプ入力シート

□様式D 換気入力シート

□様式F 給湯入力シート

□様式H 太陽光発電入力シート
- 様式B-2 断熱仕様入力シート

□様式C-2 空調外気処理入力シート

□様式C-4 空調送風機入力シート

■様式E 照明入力シート

□様式G 昇降機入力シート

□様式I コージェネレーション設備入力シート

2. 入力シートによる入力項目

基本情報	C1	建物名称	スターボウル従業員更衣休憩室新築工事
	C2	地域区分	6地域
	C3	適用するモデル建物	事務所モデル
	C4	計算対象室用途	
	C5	計算対象床面積	134.83 [m ²]
建物形状 外皮性能 窓性能	PAL1	階数	1階
	PAL2	各階の階高の合計	2.7 [m]
	PAL3	建物の外周長さ	47.2 [m]
	PAL4	非空調コア部の外周長さ	2 [m]
	PAL5	非空調コア部の方位	西
	PAL6	外壁面積-北	18.09 [m ²]
	PAL7	外壁面積-東	33.21 [m ²]
	PAL8	外壁面積-南	21.87 [m ²]
	PAL9	外壁面積-西	33.21 [m ²]
	PAL10	屋根面積	134.83 [m ²]
	PAL11	床面積	0.00 [m ²]
	PAL12	外壁の平均熱貫流率	0.36 [W/m ² K]
	PAL13	屋根の平均熱貫流率	0.33 [W/m ² K]
	PAL14	床の平均熱貫流率	0.00 [W/m ² K]
	PAL15	窓面積-外壁面(北)	8.10 [m ²]
	PAL16	窓面積-外壁面(東)	4.32 [m ²]
	PAL17	窓面積-外壁面(南)	4.32 [m ²]
	PAL18	窓面積-外壁面(西)	4.32 [m ²]
	PAL19	窓面積-屋根面	0.00 [m ²]
	PAL20	窓の平均熱貫流率(壁)	4.18 [W/m ² K]
	PAL21	窓の平均日射熱取得率(壁)	0.63
	PAL22	窓の平均熱貫流率(屋根)	0.00 [W/m ² K]
	PAL23	窓の平均日射熱取得率(屋根)	0.00
空調熱源	AC0	空気調和設備の評価	評価する
	AC1	主たる熱源機種（冷房）	ルームエアコンディショナ
	AC2	個別熱源比率（冷房）	100 [%]
	AC3	熱源容量（冷房）の入力方法	数値を入力する
	AC4	床面積あたりの熱源容量（冷房）	163.33 [W/m ²]
	AC5	熱源効率（冷房）の入力方法	数値を入力する
	AC6	熱源効率（冷房）	1.41
	AC7	主たる熱源機種（暖房）	ルームエアコンディショナ
	AC8	個別熱源比率（暖房）	100 [%]
	AC9	熱源容量（暖房）の入力方法	数値を入力する
	AC10	床面積あたりの熱源容量（暖房）	200.08 [W/m ²]
	AC11	熱源効率（暖房）の入力方法	数値を入力する
	AC12	熱源効率（暖房）	1.75
外気処理 空調 制御	AC13	全熱交換器の有無	無
	AC14	全熱交換効率	
	AC15	自動換気切替機能	無
	AC16	予熱時外気取入れ停止の有無	無
	AC17	二次ポンプの変流量制御	無
	AC18	空調機の変風量制御	無
	V0	機械換気設備の評価	評価しない
	V1	機械換気設備の有無	
	V2	換気方式	
	V3	電動機出力の入力方法	
	V4	単位送風量あたりの電動機出力	
	V5	高効率電動機の有無	
	V6	送風量制御の有無	
	V7	計算対象床面積	
機械室 便所 換気 駐車場 厨房	V1	機械換気設備の有無	
	V2	換気方式	
	V3	電動機出力の入力方法	
	V4	単位送風量あたりの電動機出力	
	V5	高効率電動機の有無	
	V6	送風量制御の有無	
	V7	計算対象床面積	
	V1	機械換気設備の有無	
	V2	換気方式	
	V3	電動機出力の入力方法	
	V4	単位送風量あたりの電動機出力	
	V5	高効率電動機の有無	
	V6	送風量制御の有無	
	V7	計算対象床面積	
	V1	機械換気設備の有無	
	V2	換気方式	
	V3	電動機出力の入力方法	
	V4	単位送風量あたりの電動機出力	
	V5	高効率電動機の有無	
	V6	送風量制御の有無	
	V7	計算対象床面積	

日本ERI(株)
評価

2. 入力シートによる入力項目（続き）

事務室	L0	照明設備の評価	評価する
	L1	照明設備の有無	有
	L2	消費電力の入力方法	数値を入力する
	L3	消費電力	1.46 [W/m ²]
	L4	在室検知制御	無
	L5	明るさ検知制御	無
	L6	タイムスケジュール制御	無
	L7	初期照度補正機能	無
照明	L1	照明設備の有無	
	L2	消費電力の入力方法	
	L3	消費電力	
	L4	在室検知制御	
	L5	明るさ検知制御	
	L6	タイムスケジュール制御	
	L7	初期照度補正機能	
	L1	照明設備の有無	
	L2	消費電力の入力方法	
	L3	消費電力	
	L4	在室検知制御	
	L5	明るさ検知制御	
	L6	タイムスケジュール制御	
	L7	初期照度補正機能	
洗面手洗い	HW0	給湯設備の評価	評価しない
	HW1	給湯設備の有無	
	HW2	熱源効率の入力方法	
	HW3	熱源効率	
	HW4	配管保温仕様	
	HW5	節湯器具	
給湯浴室	HW1	給湯設備の有無	
	HW2	熱源効率の入力方法	
	HW3	熱源効率	
	HW4	配管保温仕様	
	HW5	節湯器具	
厨房	HW1	給湯設備の有無	
	HW2	熱源効率の入力方法	
	HW3	熱源効率	
	HW4	配管保温仕様	
	HW5	節湯器具	
昇降機	EV1	昇降機の有無	無
	EV2	速度制御方式	
パネル1	PV1	設備の有無	無
	PV2	年間日射地域区分	
	PV3	方位の異なるパネルの数	
	PV4	システムの容量	
	PV5	アレイの種類	
	PV6	アレイの設置方式	
	PV7	設置方位角	
	PV8	設置傾斜角	
パネル2	PV4	システムの容量	
	PV5	アレイの種類	
	PV6	アレイの設置方式	
	PV7	設置方位角	
	PV8	設置傾斜角	
パネル3	PV4	システムの容量	
	PV5	アレイの種類	
	PV6	アレイの設置方式	
	PV7	設置方位角	
	PV8	設置傾斜角	
パネル4	PV4	システムの容量	
	PV5	アレイの種類	
	PV6	アレイの設置方式	
	PV7	設置方位角	
	PV8	設置傾斜角	
太陽光発電	CGS0	コージェネレーション設備の評価	評価しない
	CGS1	コージェネレーション設備の 一台当たりの定格発電出力	
	CGS2	コージェネレーション設備の設置台数	
コージェネレーション	CGS3	効率の入力方法	
	CGS4	発電効率（負荷率100%）	
	CGS5	発電効率（負荷率75%）	
	CGS6	発電効率（負荷率50%）	
	CGS7	排熱効率（負荷率100%）	
	CGS8	排熱効率（負荷率75%）	
	CGS9	排熱効率（負荷率50%）	
	CGS10	排熱利用先	
	CGS11	全冷房能力に対する排熱利用可能な 冷房熱源機種の冷房能力比率	

様式A 基本情報入力シート

① シート作成月日	2022/1/14			
② 入力責任者	株式会社虹工房一級建築士事務所 明神清文			
③ 建物名称	スターボウル従業員更衣休憩室新築工事			
④ 建築物所在地	都道府県	香川県	市区町村	丸亀市
	土器町東6丁目457-1			
⑤ 省エネルギー基準 地域区分	6地域			
⑥ 年間日射地域区分				
⑦ 延べ面積 [m ²]	134.83			
⑧ 建築基準法施行規則 別記様式に定める用途	記号	08470		
	用途の区分	事務所		
⑨ モデル建物法で適用する 建物モデルの種類	建物用途	事務所モデル		
	室用途			
⑩ 計算対象部分の床面積 [m ²]	134.83			
⑪ 計算対象部分の 空調対象床面積 [m ²]	122.45			
⑫ 計算対象部分の階数	地上	1	地下	
⑬ 計算対象部分の 階高の合計 [m]	2.7			
⑭ 計算対象部分の 外周長さ [m]	47.2			
⑮ 計算対象部分の 非空調コア部	方位	西	長さ [m]	2



様式B-1 開口部仕様入力シート

① 建具仕様名称	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
	②&③入力又は④入力			⑤&⑥入力又は⑤&⑦&⑧入力又は⑨&⑩入力						
	幅 W [m]	高さ H [m]	窓面積 [m ²]	窓（ガラス+建具）の性能			窓（ガラス+建具）の性能			
				建具の種類	ガラスの性能		熱貫流率 [W/(m ² ・K)]	日射熱取得率 [-]	熱貫流率 [W/(m ² ・K)]	日射熱取得率 [-]
ガラスの種類	熱貫流率 [W/(m ² ・K)]	日射熱取得率 [-]								
引違い窓	1.8	1.2		金属製(複層ガラス)	2FA06					
両開きドア	1.8	2.1		金属製(複層ガラス)	2FA06					



様式B-2 断熱仕様入力シート

① 断熱仕様名称	② 部位種別	③		④	⑤	⑥	⑦	⑧ 備考	
		③&⑥入力又は③&④&⑥入力又は⑤&⑥入力又は⑦入力							
		断熱材種類 (大分類)	断熱材種類 (小分類)	断熱導率 [W/(m・K)]	厚み [mm]	熱貫流率 [W/(m ² ・K)]			
W100	外壁	グラスウール断熱材通常品	グラスウール断熱材24K			100			
R100	屋根	グラスウール断熱材通常品	グラスウール断熱材24K			100			



様式B-3 外皮仕様入力シート

① 外皮名称	② 方位	③ 幅 W [m]	③&④入力又は⑤入力		⑤ 外皮面積 [m ²]	⑥ 断熱仕様名称	⑦ 建具仕様名称	⑧ 建具等個数	⑨ ブラインドの有無	⑩ 日除け効果係数		⑪ 備考
			④ 高さ H [m]	⑤ 入力						冷房	暖房	
北	北				26.19	W100	引違い窓	2	無			
							両開きドア	1	無			
東	東				37.53	W100	引違い窓	2	無			
南	南				26.19	W100	引違い窓	2	無			
西	西				37.53	W100	引違い窓	2	無			
1F屋根	屋根				134.83	R100						



様式C-1 空調熱源入力シート

① 熱源機器名称	② 熱源機種	③ 台数 [台]	④ 一台当たりの 定格能力 [kW/台]		⑤ 一台当たりの 定格消費電力 [kW/台]		⑥ 一台当たりの 定格燃料消費量 [kW/台]		⑦ 備考
			冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	
PC1	ルームエアコンディショナ	3	4	5	0.88	0.92	0	0	
PC2	ルームエアコンディショナ	1	8	9.5	2.9	2.58	0	0	



様式E 照明入力シート

① 室名称	② 室用途	③ 床面積 [㎡]	④ 照明器具名称	⑤ 消費電力 [W/台]	⑥ 台数 [台]	⑦ 省エネ制御			⑩ 初期照度 補正機能	⑪ 備考
						在室検知 制御	明るさ 制御	⑨ タイムスケジュール 制御		
事務所	事務室	44.67	LED	16.3	4	無	無	無	無	



モデル建物法 補足資料

設計責任者
明神清文 大臣登録 第103712 号



カ タ ロ グ

日本ERI(株)

評価

仕様

型式	項目	電 源 (V)	定 格 周 波 数 (Hz)	暖房						冷房						通年エネルギー消費効率 (APF)	JIS C 9612:2013 (APF)	区 分 名	外形寸法			製 品 質 量 (kg)
				定 格 能 力 (kW)	定 格 消費電力 (W)	運 転 電 流 (A)	運 転 音 (dB)	暖房の目安		定 格 能 力 (kW)	定 格 消費電力 (W)	運 転 電 流 (A)	運 転 音 (dB)	冷房の目安								
								（音響パワーレベル） 音 転	（音響パワーレベル） 音 転					木造南向き和室 (㎡)	鉄筋アパート南向き洋室 (㎡)				木造南向き和室 (㎡)	鉄筋アパート南向き洋室 (㎡)		
室内機 RAS-XJ40M2		単相 200	50/60	5.0	920	5.4	69	18	23	4.0	880	5.2	65	18	28	7.5	7.5	C	295	798	385	16.5
室外機 RAC-XJ40M2				(0.4~ 11.9)	(135~ 3,900)	(最大 20A)	60			(0.5~ 5.5)	(155~ 1,800)		62						709	859	319	41
室内機 RAS-XJ80M2		単相 200	50/60	9.5	2,580	13.0	71	35	43	8.0	2,900	14.6	69	36	55	5.8	5.7	G	295	798	385	17
室外機 RAC-XJ80M2				(0.6~ 11.9)	(145~ 3,900)	(最大 20A)	70			(0.6~ 8.1)	(175~ 3,150)		70						709	859	319	41.5

- この仕様表は、JIS C 9612：2013に基づいた数値です。
- （ ）内は能力・消費電力の可変幅を表示しています。
- 運転音および定格能力は、リモコンの設定温度を冷房時で最低設定温度、暖房時で最高設定温度になるように設定し、設定風速を急速パワフルで運転したときの値です。
- 区分名とは、家庭用品品質表示法に基づく表示です。
- 遠隔ランプ点灯中、停止のときの消費電力は約0.8Wです。

- 運転停止中の消費電力は、0.04Wです（日本電機工業会自主基準による待機時消費電力測定値0.0Wを示す）。
タイマー設定中は0.5Wです。
音声の設定を **3** に変更している場合、お部屋の高温・高湿度になったときに、おしらせするため 約1.4Wの電力を消費します。（室温が約27℃のとき、室温によって変動します）

日本ERI(株)

評価

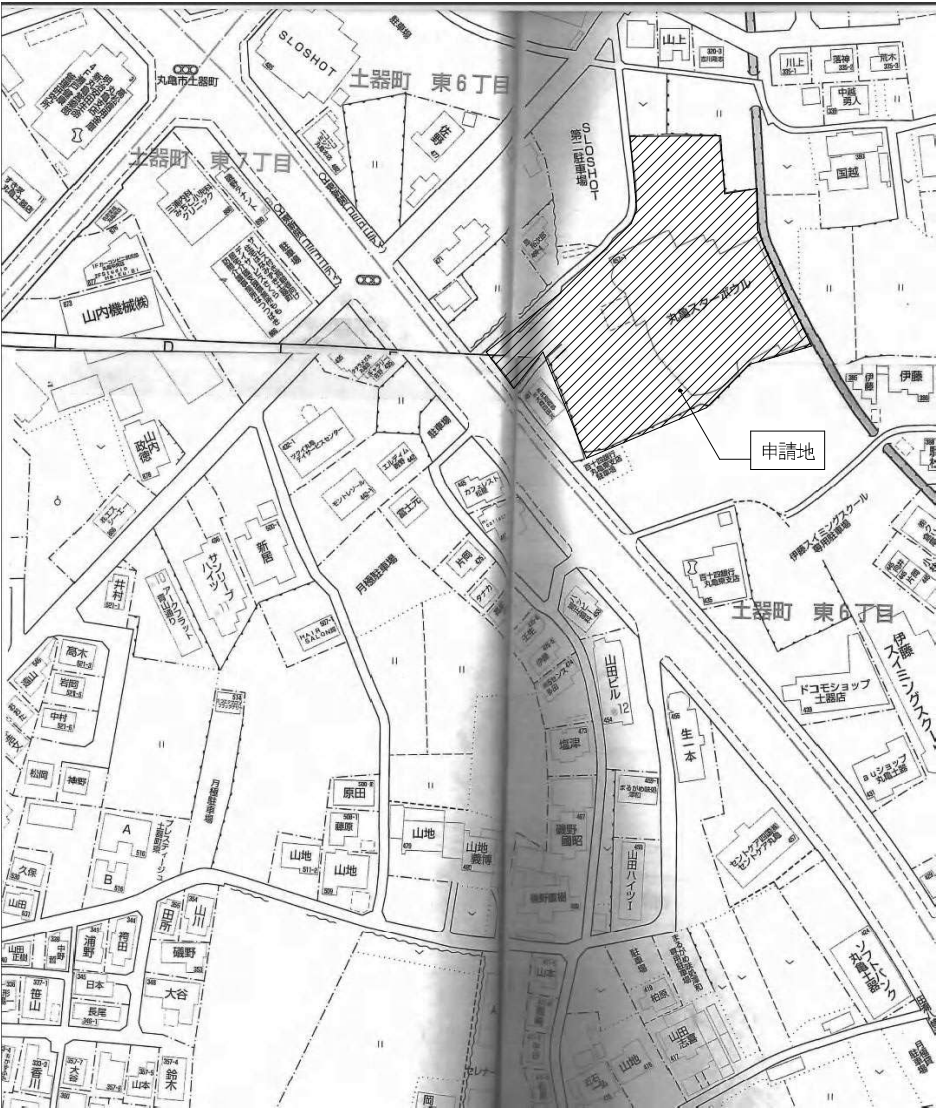
換気扇・ロスナイ [本体]ダクト用換気扇 天井埋込形 VD-07ZC12

		50Hz	60Hz
ダクト径 (mm)	EA	75.0	
羽根径 (mm)		85.0	
外形寸法(高さ×幅×奥行) (mm)		193×283×210	
機外静圧 (Pa)		0	0
消費電力 (W)		3.80	4.90
製品質量 (kg)		1.1	
騒音<SPL> (dB)		25.50	25.50
電圧 (V)		100V	
電源 (φ)		単相	
風量 (m3/h)		50	50

日本ERI(株)

評価

図 面



香川県丸亀市土器町東6丁目457-1

付近見取図

日本ERI(株)

評価

工事名称
スターボウル 従業員更衣休憩室新築工事

Drawing Name
付近見取図

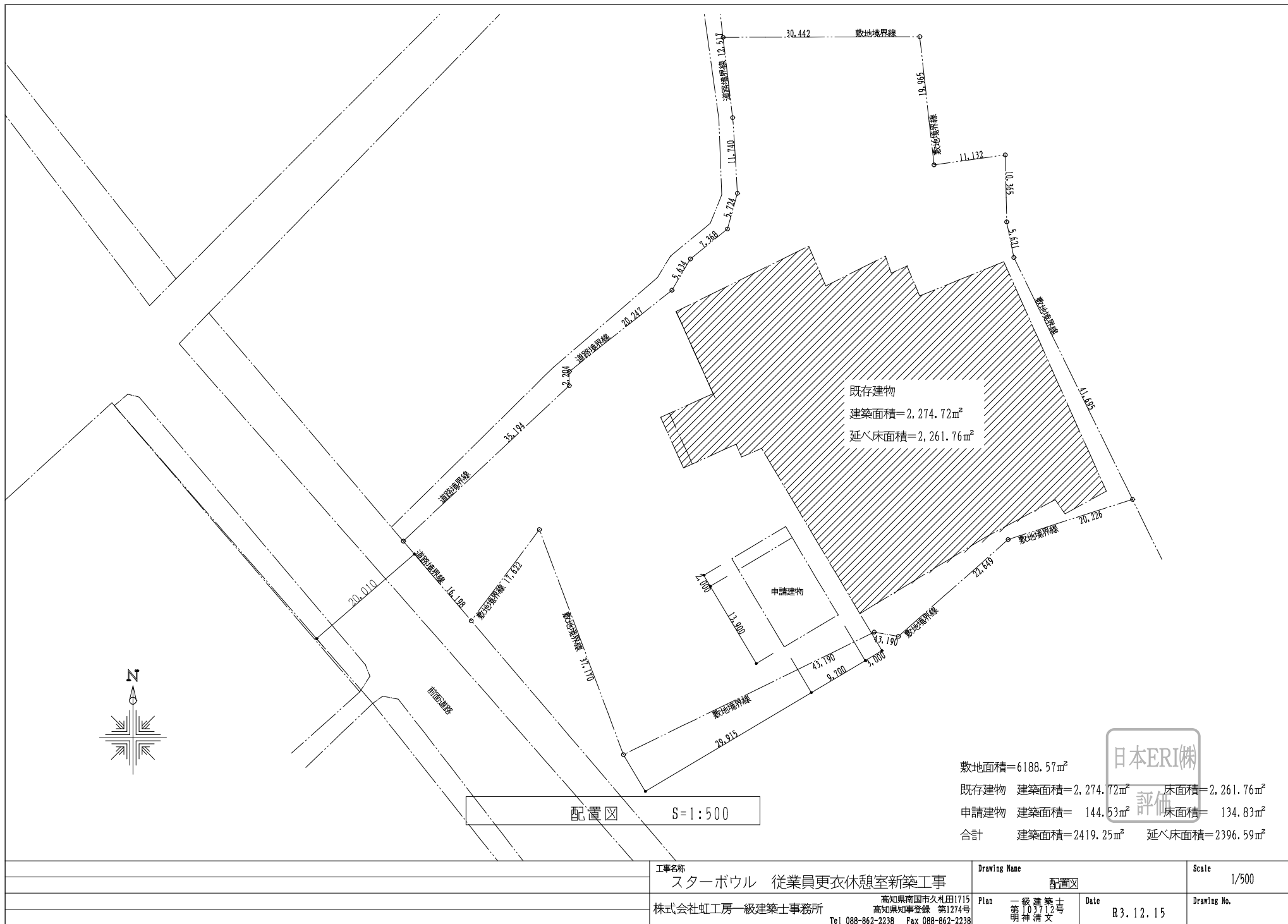
Scale

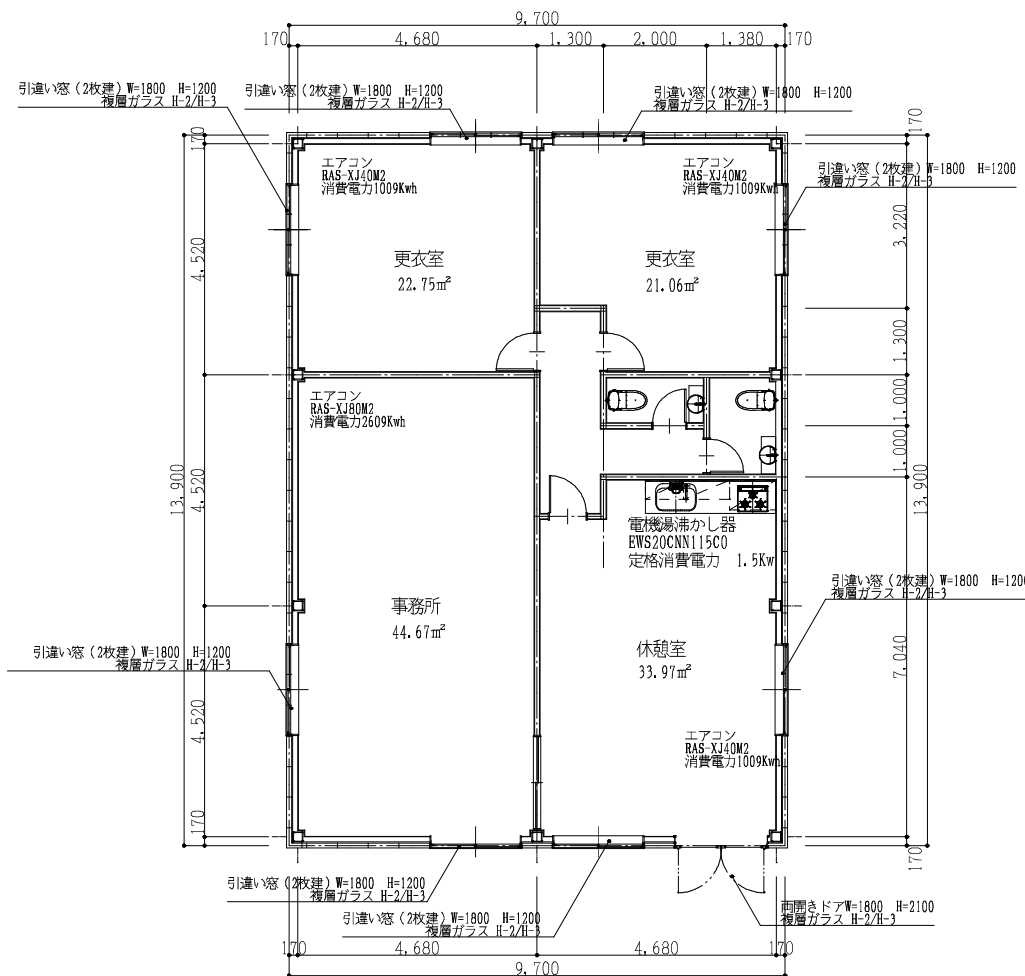
株式会社虹工房 一級建築士事務所
高知県南国市久礼田1715
高知県知事登録 第1274号
Tel 088-862-2238 Fax 088-862-2238

Plan
一級建築士
第103713号
明神清文

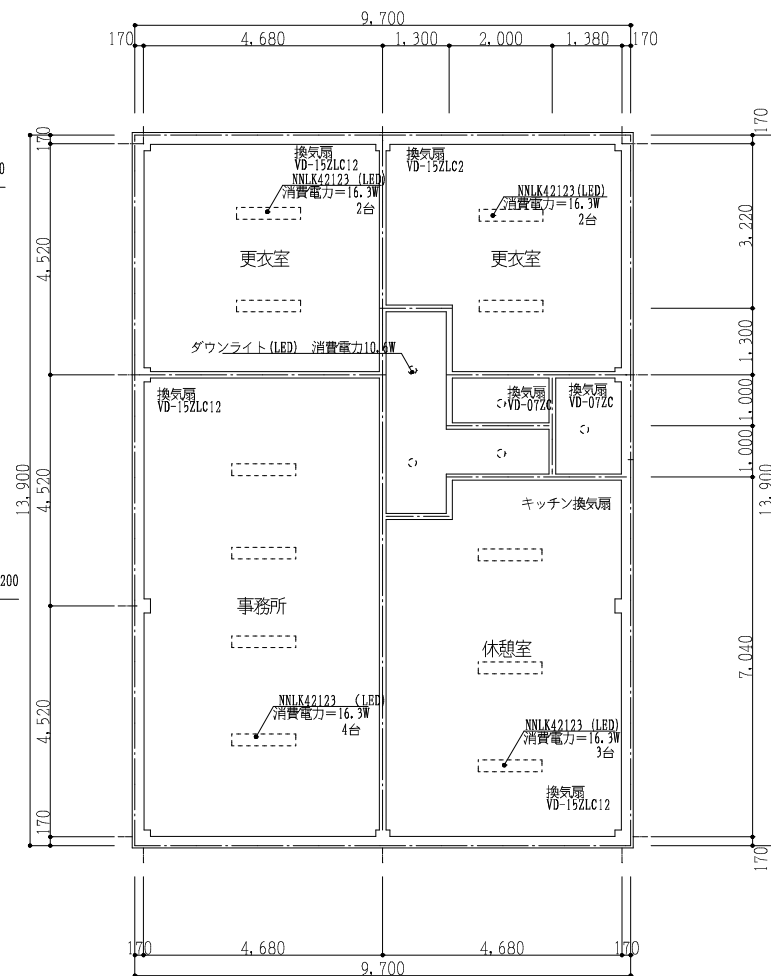
Date
R3.12.15

Drawing No.





平面図 S = 1 : 100



天井伏図 S = 1 : 100

引違い窓 (2枚建) 複層ガラス H-2/H-3

- ※1空調設備: 「冷房・暖房能力及び消費電力はJIS B8616 又は JIS C9612による。」
 ※2換気設備: 「電動機出力・入力はJIS B8330による。」「消費電力はJIS C9603による。」
 ※3給湯設備 (ガス給湯器): 「出湯能力・定格消費電力・表示ガス消費量はJIS S2109による。」
 給湯設備 (貯湯式電気温水器) 「定格消費電力はJIS C9219による。」
 給湯設備 (電気瞬間湯沸器) 「定格入力値はJIS C9335-2-35による。」
 ※4照明の消費電力: 「消費電力はJIS C8105-3による。」
 ※5太陽光発電: 「結晶系太陽電池はJIS C8918 JIS C8990またはIBC61215による。」

日本ERI(株)

評価

工事名称

スターボウル 従業員更衣休憩室新築工事

Drawing Name

平面図 天井伏図

Scale

1/100

株式会社虹工房 一級建築士事務所

高知県南国市久礼田1715
高知県知事登録 第1274号
Tel 088-862-2238 Fax 088-862-2238

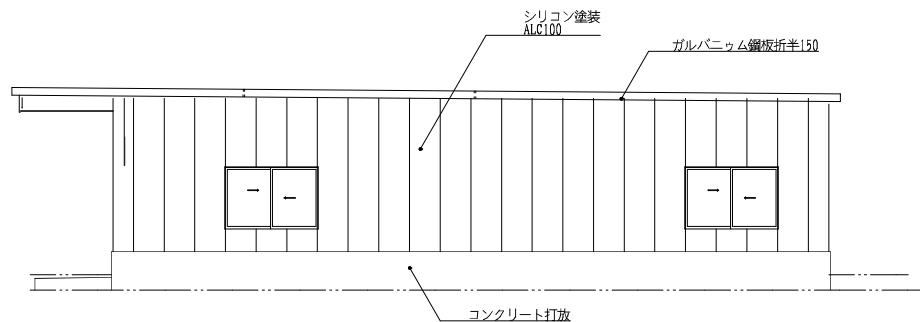
Plan

一級建築士
第103712号
明神清文

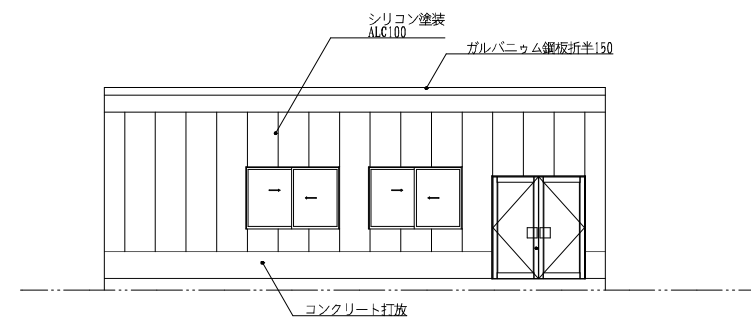
Date

R3.12.15

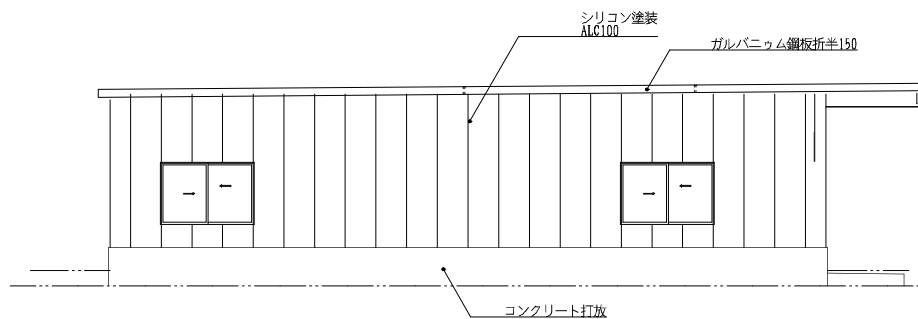
Drawing No.



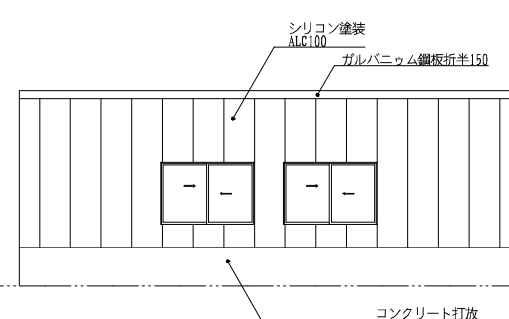
西立面図 S=1:100



北立面図 S=1:100



東立面図 S=1:100



南立面図 S=1:100

日本ERI(株)

評価

引違い窓(2枚建)複層ガラス H-2/H-3

工事名称
スターボウル 従業員更衣休憩室新築工事

株式会社虹工房 一級建築士事務所

高知県南国市久礼田1715
高知県知事登録 第1274号
Tel 088-862-2238 Fax 088-862-2238

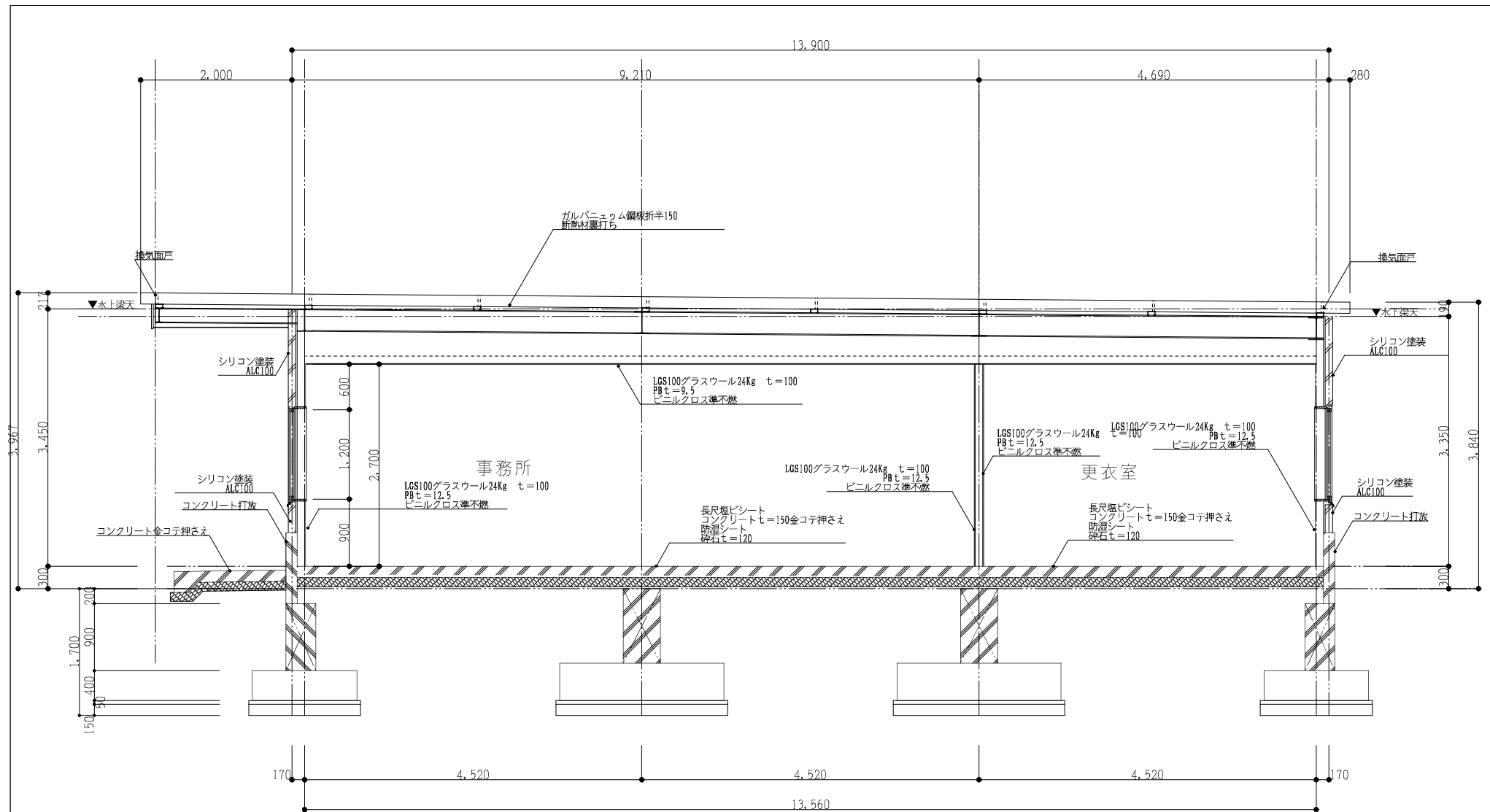
Drawing Name
立面図

Plan 一級建築士
第103712号
明神清文

Date
R3.12.15

Scale
1/100

Drawing No.



断面詳細図 S=1:50

日本ERI(株)
評価

工事名称 スターボウル 従業員更衣休憩室新築工事		Drawing Name 断面詳細図		Scale 1/50	
株式会社虹工房 一級建築士事務所		Plan 一級建築士 第103712号 明神清文		Date R3.12.15	
高知県南国市久礼田1715 高知県知事登録 第1274号 Tel 088-862-2238 Fax 088-862-2238		Drawing No.			